

*この事例集は、景観まちづくり教育ホームページの「景観まちづくり講座事例集」(全 52 事例)のうち、主として「既存の団体・組織を利用する」方法で実施している事例を収録したものです。

収録事例リスト

●景観や景観まちづくりの考え方や手法を学んでもらう

◆景観まちづくり出前講座

- 33 もりおかまちづくり出前講座—もりおかの都市景観— [岩手県盛岡市]
- 34 生涯学習出前講座「あびこの景観」 [千葉県我孫子市]
- 35 個性豊かな住環境づくり事業「住まい・まち体験学習」 [大阪府八尾市]
- 36 小・中学校景観出前授業 [高知県・高知県高知市]
- 37 中学生のための景観教室 [宮崎県宮崎市]

●景観まちづくりに取り組みたい人を支援し活動機会を提供する

◆市民参加の計画策定・空間整備

- 43 地域別まちづくり懇談会 [滋賀県栗東市]
- 44 小林中央通アーケード撤去に伴う活性化プラン策定 [宮崎県小林市]
- 45 優良景観形成住民協定(梁川町川北地区のまちなみづくり) [梁川町川北まちづくりの会]
- 46 景観まちづくり市民プラン策定市民会議 [東京都昭島市]
- 47 おだわらの彩り考え隊 [神奈川県小田原市]

◆市民活動の支援制度

- 48 まちづくり専門家派遣制度 [福岡県]
- 49 山口県景観アドバイザー登録制度 [山口県]

まち並みや景観施策を学ぶ出前講座！

No.33

もりおかまちづくり出前講座 –もりおかの都市景観– 岩手県盛岡市



- ❖市民の要請を受けて行う、まちの景観や景観施策を紹介する「景観出前講座」。
- ❖市民にとって、普段はあまり馴染みのない行政の取り組みを知ることが出来る機会です。まち並みを支えている制度を知ること、身近な地域を見直し、自分に出来る役割を考え直すきっかけにもなります。
- ❖講師を務める市の職員にとっても、市民の素朴な意見や疑問を聞くことが出来る、貴重なチャンスです。

詳細

- 対象：市内在住・在勤の、概ね10人以上で構成されるグループ等。
- 目的：まちの景観と施策の紹介を通じて、身近な景観に対する意識を持ってもらう。

○内容・特徴：市の事務や事業、制度についての学習機会を提供する出前講座の一つとして実施されている。希望者に対して、まち並みや都市景観、景観施策について紹介、解説する。

○実施概要

- ・日時：派遣要請があり次第随時、1時間半程度。
- ・費用：講師料は無料、会場は利用者が確保する。
- ・実施体制：市職員が講師を務める。
- ・教材等：説明にはパワーポイントを使用する他、「都市景観形成ガイドライン」や「都市景観賞」等のパンフレットを配布。

○スケジュール (例)

時間	内容
20分	挨拶、景観とは
30分	盛岡の都市景観について、「都市景観形成ガイドライン」の説明
10分	休憩
10分	都市景観についての意識調査(アンケート実施)
35分	都市景観賞の紹介、過去の受賞作品の紹介
5分	質疑応答、補足説明

*スケジュールは、年度や利用者の希望により異なる。

○その他

- ・「もりおかまちづくり出前講座」では、上記講座の他、景観に関係の深いものに、「玉山区のふるさと景観」、「あのなっす盛岡の都市計画」、「街に残る歴史的建造物」、「花と緑のまちづくり」等がある。



講座で使用したパワーポイントの一例

景観まちづくりの施策や考え方を学ぶ景観出前講座！

No.34

生涯学習出前講座「あびこの景観」

千葉県我孫子市



- ❖市民の要望に応じて、景観まちづくりの施策の紹介を行う出前講座「あびこの景観」。
- ❖講義形式で、市内の良好な景観や、市の景観行政の歩み、その時々重点的な取り組みについての紹介や解説を行います。市民が景観形成に取り組む際の基本的な考え方や配慮点も紹介します。
- ❖行政の景観施策に対する市民の関心や理解が深まり、景観まちづくりに主体的に取り組む市民が生まれることが期待されます。

詳細

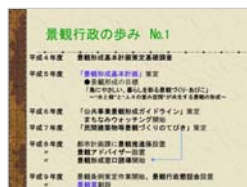
○対象：市内在住・在勤・在学の、10人以上の団体・グループ

○目的：景観に対して一定の興味・関心を持っている人や、歴史・文化や自然環境の保護・保全等に興味がある人に、景観について学習してもらう。

○内容・特徴：市役所各課の取り組みを紹介する「出前講座」の一環として行われている。景観の基礎知識や、市民・事業者・行政による景観づくりについて紹介、解説する。

○実施概要

- ・日時：市役所との相談により決定。
- ・場所：申込者が確保した、市内の会場。
- ・費用：講師料は無料、会場費等は申込者が負担。
- ・実施体制：行政職員が講師を務める。
- ・教材等：講義ではパワーポイントを使用。



○講座の主な内容

- ・【我孫子にとっておき】：我孫子市景観賞を受賞した場所や活動の紹介等
- ・【我孫子市の景観行政】：市の景観行政の歩み、景観形成の目標や基方針の紹介等
- ・【色彩景観ガイドライン】：色彩の表し方、特定地区（景観形成重点地区等）における基調色の紹介等
- ・【道路きわ緑化景観づくり】：道路きわの緑の役割、道路きわ景観づくりの捉え方の紹介等
- ・【景観法制定、景観計画と景観条例】：景観法や景観計画の紹介等
- ・【景観行政の現在】：電線地中化の取り組み、世界の都市の景観の紹介等



講義で使用したパワーポイントの一例

○その他

- ・上記の他、景観に関係が深い出前講座として、「都市計画マスタープランってなに？」、「住む人が作る地区計画」、「区画整理とは？」、「あびこの公園とみどり」等がある。

専門家から学んでまちを体験！

No.35

個性豊かな住環境づくり事業「住まい・まち体験学習」 大阪府八尾市



- ❖総合的な学習の時間で実施される「住まい・まち体験学習」。
- ❖市の職員や地元の建築家など、建築や都市計画、景観の専門家が講師を務めます。普段は気がつかない身近な地域の構成要素や生活を支える様々なものの仕組みから、わがまちの歴史、世界各地の風景や暮らしの様子まで、幅広く学べます。
- ❖講義やフィールドワークを通じて、まちを体験しながら学べる授業です。

詳細

○対象：小学生（総合的な学習の時間で実施）

○目的：住まいやまちづくりをテーマにした授業を実施することにより、小さいころから住まいやまちに興味を持ってもらう。

○内容・特徴：総合的な学習の時間で実施する出前授業。建築や都市計画、景観の専門家が講師を務め、住まいや建物、まちに関する様々な内容について授業を実施する。

○実施概要

- ・日時：2時間程度の授業を各学期に1回、計3回程度実施。実施日時は学校と相談して決定。
- ・募集方法：市内小学校校長の全体会議で募集をかける。
- ・実施体制：市都市計画課と、NPO法人八尾すまいまちづくり研究会の協働で実施（主催：八尾市、企画・運営：NPO法人）。
- ・教材等：NPO法人八尾すまいまちづくり研究会が作成。

○実施例

【対象：北山本小学校3年生（平成16年度実施）】

回（実施日）	概要
第1回 （6月10日）	【テーマ：健康と安全】街にある身近なものを発見することを目的に、子どもたちは数人のグループでまち歩きを行い、デジタルカメラ等を使いながら見つけたものを記録する。
第2回 （12月21日）	【テーマ：いろいろなまち探検】スライドを使用して、様々な地域の暮らしや建物を紹介する講義を行う。
第3回 （1月13日）	【テーマ1：校区の昔】スライドを使用して、学校がある地域の過去を辿っていく講義を行う。 【テーマ2：給水塔の仕組み】実演を交えて、地域の団地の中央にある給水塔の仕組みを解説する。



様々な地域の暮らしや建物の紹介（上）、給水塔の仕組みを解説（下）【北山本小】

【龍華小学校5年生（平成17年度実施）】

実施日	概要
7月12日	【テーマ：たんけん たんけん 探検 探検するぞ!】自分の住んでいる地域でまち歩きを行い、見つけたものを、「気に入ったところ」、「ずっと残しておきたいところ」、「みんなに紹介したいところ」、「その他」に分類して記録し、学校に帰ってから感想をまとめる。



まち歩きの様子【龍華小】

みんなでまちなみ景観計画作成に挑戦！

No.36

小・中学校景観出前授業 高知県・高知県高知市



- ❖総合的な学習の時間を利用して実施される「小・中学校景観出前授業」。
- ❖日本や海外の美しい景観や、景観の構成要素などを学んだ後、まち歩きによって地域の良いところや悪いところを探します。まち歩きでの発見を元に、地域のまちなみの写真を使って検討しながら、理想の景観の在り方や、実現に向けた方策を考えます。
- ❖クラスみんなで取り組んだ成果として、大きなまちなみ景観計画が完成します。

詳細

- 対象：小・中学校の児童・生徒（総合的な学習の時間で実施）
- 目的：これからの社会を担う小・中学校の児童生徒が、身近な地域の景観を意識する機会を設け、景観やまちづくりに関心を持ってもらうとともに、児童生徒の保護者や地域コミュニティに対し、景観に対する意識の啓発を図る。

○内容・特徴：小・中学校の児童・生徒を対象として実施する出前授業。屋外観察や地図作成などを交えた体験型の授業により、地域の景観要素を発見し、地域の景観を今後どうしていくべきかを考える。

○実施概要

- ・日時：小・中学校との相談により決定
- ・募集方法：教育委員会を通じて小中学校を募集
- ・実施体制：高知県高知市から特定非営利活動法人「高知まちづくり支援ネットワーク」に対して実施が委託される。実際の授業は、景観や都市計画の専門家（高知工科大学教授等）が行う。
- ・教材等：「高知まちづくり支援ネットワーク」が作成



まち歩きの様子

○カリキュラム概要（年度により異なる。下表は平成19年度の例。）

回 (時間数)	テーマと授業概要
第1回 (3時間)	◇建築と風景のデザイン～美しい建築物と風景を学ぶ～ ・日本や海外の美しい景観のスライドを使用し、美しい風景の構成要素やポイントについて解説する。
第2回 (4時間)	◇まち歩きとガリバー地図づくり～まち歩きをして地域を知ろう～ ・班でまち歩きを行い、地域の良いところ・悪いところを見つけて写真を撮る。写真と感想をガリバー地図（7m×5m）に貼り、発表する。
第3回 (4時間)	◇まちなみ景観計画づくり～まちの景観計画をつくらう～ ・地域の様々な景観の写真に木や花の絵を貼り、景観を変えてみる。その後、自分たちの住むまちの理想とする景観について、「場所」、「テーマ」、「課題」、「実施者」、「方法」を考えて景観計画をつくる。



まちなみ景観計画作成の様子



まちなみ景観計画発表の様子



❖学校教育と連携した景観教育として行っている「中学生のための景観教室」。

❖講義を通じて景観まちづくりの考え方や知識を学んだ後、屋外でのまちなみ観察や、まちなみ模型づくりに取り組みます。意識してまちなみを観察したり、各班で模型を作って並べたりするので、普段あまり気付かないさまざまなことに気がつきます。

❖知識と体験の両面から景観まちづくりについて学ぶ授業です。自分たちの住むまちについての理解も深まります。

詳細

- 対象：中学生（社会科の選択授業での実施が多い。）
- 目的：「景観」をテーマにした授業を学校教育の中にとりこむことにより、将来の景観の担い手である子供たちの景観に対する興味や関心を喚起し、自主的な活動を通じて知識の習得を図る。

○内容・特徴：市と学校が連携して行う授業で、生徒は、市都市景観課の職員による講義や屋外でのまちなみ観察（夏休みを利用）及び発表、模型づくり等を通じて、景観まちづくりの知識や考え方を身につける。その他、専門家（建築士など）による特別講義も行っている。

○実施概要

- ・日時：年間を通して、50分の授業を10～20回程度実施（年度により異なる）
- ・募集方法：毎年作成する実施報告書と共に全校に募集をかける
- ・実施体制：市都市景観課の職員と担当教諭により授業を実施
- ・教材等：講義で使用する資料は市都市景観課が作成。
レンズ付きフィルム、模型材料は市が提供。



↑景観に関する講義の様子



↑まちなみ観察・調査の様子



↑まちなみ観察・調査発表の様子

○カリキュラム概要（年度により異なる。下表は平成18年度の例。）

時間	授業内容
1時間目	◇オリエンテーション ・授業の進め方、スケジュール等を説明 ◇まちづくりについて ・都市景観からのまちづくりについての講義
2時間目 3時間目	◇まちなみ観察・調査研究 ・学校周辺を歩き、気になった風景やまちなみを写真に撮る（一人1個レンズ付きフィルムを配布）
4時間目 5時間目	◇まちなみ観察・調査のまとめ、発表 ・各自が撮影した写真を利用して、各班でまちなみ観察の調査結果をまとめ、発表を行う
6時間目 ～ 8時間目	◇まちなみ模型づくり ・模型を製作する範囲を3区画に分け、3グループが1区画ずつ担当し、テーマを決めてまちなみ模型を製作する ・その後、3グループの模型を繋ぎ合わせ、意見交換をしながら配置や修景等を改善する
9時間目	◇景観教室のまとめ ・各自の感想をまとめ、発表を行う



↑模型製作の様子

<http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/keikan/>（みやざきの景観まちづくりHP）

地域住民がまちづくり構想を策定！

No.43

地域別まちづくり懇談会 滋賀県栗東市



- ❖地域住民と行政が協力して、地域別のまちづくり構想を策定する「まちづくり懇談会」。
- ❖学区ごとに、住民の持つ情報や意向を聴きながら、ワークショップ方式で構想を策定していきます。住民と行政による協働体制の構築に向けた足がかりにすると共に、参加した住民が、今後のまちづくりのリーダーになることが期待されます。
- ❖策定されたまちづくり構想は、市の都市計画マスタープランに反映されます。

詳細

- 対象：市内8学区（当時）の地域振興協議会から推薦された地域住民(各学区約30名)
- 目的：都市計画マスタープランの策定に向けて、きめ細かな地域の情報や住民意向を把握しながら、地域住民と行政が協働して地域別のまちづくり構想を策定する。また、これらを通じて、市民主役のまちづくりの第一歩とする。

○内容・特徴：市内の学区毎に、住民と行政と一緒に、地域の良い点や問題点、まちづくりのテーマ等話し合いながら、地域別のまちづくり構想を策定する。策定されたまちづくり構想は、都市計画マスタープランの地域別構想に反映された。

○実施概要

- ・日時：平成17年9月から12月の間で各学区3回ずつ開催
各回とも夜7時半から9時
- ・場所：公民館会議室等
- ・募集方法：地域振興協議会に対して、住民代表の推薦を依頼。世代や居住地区、所属団体等のバランスを考慮した他、地域活動に取り組んでいる人や、今後まちづくりのリーダーになってくれそうな人を選出。
- ・実施体制：各回とも、市職員3名程度、コンサルタント3名程度
- ・教材等：各回のプログラムや前回の記録、地域概要の資料等を配布

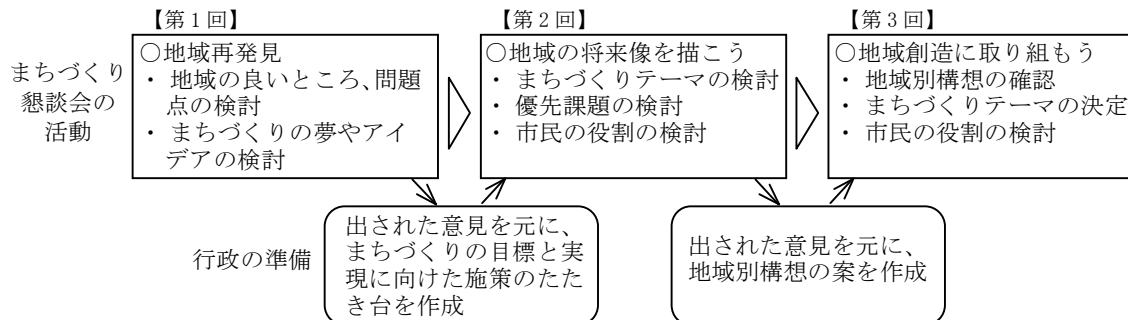


話し合いの様子



使用された地図：参加者の意見等が書き込まれている

○全体の流れと各回の概要



商店街活性化を目指した、まち並み整備構想の策定！

No.44

小林中央通アーケード撤去に伴う活性化プラン策定

宮崎県小林市



❖商店街の老朽化したアーケードの撤去に伴い、個性ある魅力的なまち並みの形成を目指す「活性化プラン」を策定する取り組み。

❖商店街は、住民や関係機関の参加をながら、ワークショップ方式で検討を進めていきます。地域の課題やニーズを踏まえて、地域の顔にふさわしい、魅力的なまち並み整備のイメージを固めていきます。

❖地域が一体となった取り組みを通じて、商店街の活性化が期待されます。

詳細

○対象：商店街振興組合員

○目的：商店街の老朽化したアーケードの撤去に伴い、個性ある魅力的なまち並みを形成することにより、商店街の活性化に繋げる

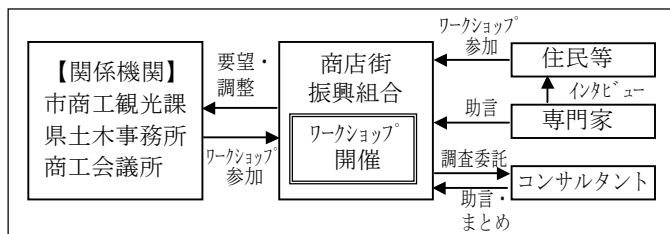
○内容・特徴：魅力的なまち並みの形成に向けて、商店街振興組合が、関係機関や住民等を交えたワークショップを開催し、各店舗のファサード補修や、雨除け・日除けの設置、照明設備の設置、舗装の再整備等について検討し、まちづくりの基本構想を策定する。

○実施概要

- ・日時：毎月1～2回ワークショップを開催

○実施体制

- ・商店街振興組合がワークショップを主催し、行政等の関係機関や住民等の参加を得る。
- ・また、専門家に参加を依頼し、住民等へのインタビュー等を踏まえて、助言を得る。調査結果のとりまとめは、コンサルタントに委託する。



○基本構想策定の経過

① アーケード及び店舗ファサードの現状調査：アーケードの腐食度合いや撤去の課題、歩道舗装等を把握

② 生活者ニーズの調査：グループインタビューにより、商店街に対する評価や要望を把握

③ 整備イメージの策定：店舗ファサードや街路灯の整備イメージ等を決定



アーケード撤去前の商店街の様子



店舗ファサードの整備イメージ例(左)と、街路灯のイメージ(右)：店舗ファサードには、雨除け・日除け機能として、欧風の「オーニングテント」の設置が決定された

国道拡幅事業に伴う、地域住民によるまちなみづくり！

No.45

優良景観形成住民協定（梁川町川北地区のまちなみづくり） 福島県梁川町川北まちづくりの会



- ❖国道の拡幅事業をきっかけに、県の支援を受けながら地域の住民が主体的に取り組んだ、地域資源を活かした「まちなみづくり」。
- ❖現地視察を通じて街路景観の整備イメージが作成され、その実現のために、建築物や看板等の意匠や配置を決めた「基本計画」が策定されました。さらに、この基本計画を元に、「景観形成住民協定」が締結されました。
- ❖締結された協定は、福島県の「優良景観形成住民協定」に認定されました。

詳細

○対象：梁川町川北地区の住民

○目的： 国道 349 号拡幅事業に伴い、まち並みや地域資源を活かしたまちづくりや道づくりの実現方策を考える。

○内容・特徴： 国道 349 号拡幅事業に伴い、地元住民によるワークショップが開催され、街路景観整備の計画案が策定された。さらに、策定した案をもとに、景観形成住民協定が策定され、周辺の住民 90 名により締結された。

○実施概要

- ・ 日時：平成 15～17 年にかけて 10 回のワークショップが開催された。
- ・ 場所：町の集会所等。
- ・ 実施体制：ワークショップは県とまちづくりの会が事務局となって開催され、有識者（大学教授）がアドバイザーとして参加した。また、地元建築士等が作業部会として参加した他、地元の学生が「学生チーム」として参加した。



現地視察の様子



検討の様子

○ワークショップでの検討経緯の概要

平成 15 年度（4 回）

- ① 現地視察
- ② 街路景観整備のデザインテーマ決め
- ③ テーマに基づいた整備案づくり
- ④ 整備の具体案の検討



策定された街路景観整備イメージ

平成 16 年度（4 回）

- ① 街路景観整備の「基本計画案」検討
- ② 家屋形状や意匠の検討
- ③ 駐車場や街路樹、看板等の検討
- ④ 街路景観整備の「計画案」検討

*「計画案」を元に景観形成住民協定が策定・締結された

- ・ 正式名称は「梁川町川北地区蔵の風情を取り入れた和風のまちなみづくり協定」
- ・ 歴史的立地を活かしたまち並みの整備に向けて、建築物や緑化、看板などに関する協定事項が定められている
- ・ 建築行為における内容の確認や助言などを行う「協定運営委員会」が設置されている

平成 17 年度（2 回）

- ① 道路構造と、交差点空間の有効利用の検討
- ② ユニバーサルデザインの観点から現地視察

市民のアイデアをモデル事業で実践！

No.46

景観まちづくり市民プラン策定市民会議 東京都昭島市



❖市民メンバーが今後の景観まちづくりを検討する「市民プラン策定市民会議」。

❖現地調査やグループ作業など、8回のワークショップを通じて「市民プラン」を策定し、ミニシンポジウムで発表します。市民の目線でまちを見直してみると、様々なアイデアが生まれてきます。

❖策定された市民プランは、今後、実現化に向けた検討が行われた後に、モデル事業として実現されます。

詳細

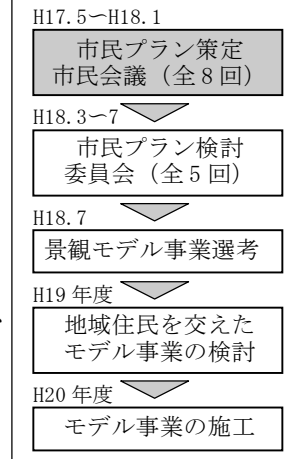
○対象：市内在住、在学、在勤者（定員40名）

○目的：市民メンバーに景観づくりを検討してもらい、「景観まちづくり市民プラン」を策定してもらうことを通じて、景観に対する意識の啓発を図ると共に、提案されたプランを元に、景観整備を実施するモデル事業を行う。

○内容・特徴：公募により集まった市民メンバーが、8回のワークショップにより「景観まちづくり市民プラン」を策定し、「ミニシンポジウム」で検討結果を発表する。策定された市民プランは、「昭島市景観まちづくり市民プラン検討委員会」に引き継がれ、実現化に向けた検討が行われた後、モデル事業として実施される。

○実施概要

- 日時：ワークショップは、平成17年5月から平成18年1月にかけて、8月を除き毎月1回開催。全て土曜日又は日曜日に開催。
- 場所：市役所会議室、市民ホール等。
- 募集方法：市広報誌、HP等で募集。
- 実施体制：市職員及びコンサルタントが事務局を務める（約10名）。
- 教材等：検討では地図や付箋紙を使用し、説明の際はスライド等を使用する。



全体の流れと、「市民プラン策定市民会議」の位置づけ

○「市民プラン策定市民会議」スケジュール

回	内容
第1回	昭島らしい景観について意見交換
第2回	市内をバスで巡り「昭島らしさ」を発見する
第3回	全国の景観まちづくり実践例の学習
第4回	検討テーマ決定（道/公園・緑地/水辺/制度・計画づくり）
第5回	テーマ別に景観まちづくり事業の検討
第6回	テーマ別に現地調査で課題確認
第7回	テーマ別に景観まちづくり事業の検討
第8回	ミニシンポジウムに向けた意見交換
ミニシンポジウム	市民会議の検討結果報告、意見交換



スライドでの景観資源紹介の様子（第1回より）



グループに分かれての、各テーマの検討の様子（第5回より）

市民の視点を色彩計画に反映！

No.47

おだわらの彩り考え隊 神奈川県小田原市



❖市民や学生が、まちを歩きながら気になる景観を探し、環境色彩のあり方を考える「彩り考え隊」。

❖参加者は、カメラを持ってまちを歩き、建築物や広告物の気になる色彩を撮影しました。市民の視点でまちを見直し、様々な意見をまとめていくと、地域にふさわしい環境色彩のあり方がみえてきました。

❖参加者から出された意見は、市が策定する色彩計画に反映されました。

詳細

○対象：市民及び、建築・色彩・デザイン等に関心のある人（居住地や年齢は不問、デジタルカメラとノートパソコンを持参し操作できる5人程度のグループで応募、10グループ程度を募集）

○目的：まちなみにふさわしい建築物や広告板等の色彩について、参加者から率直な意見や提案をもらい、地域にふさわしい環境色彩のあり方を総合的に考えると共に、作成中の「環境色彩マニュアル」に反映させる。

○内容・特徴：グループ毎にまち歩きを行い、色彩等の良い点や悪い点を見つけ、デジタルカメラで撮影し、調査結果の発表会を行う。

○実施概要

- ・日時：平成16年11月28日（日）
- ・場所：まち歩きの対象範囲は、駅周辺の色彩整備の優先地域
- ・参加費用：無料（参加者はデジタルカメラとノートパソコンを持参する）
- ・募集方法：市広報誌やHPで募集する他、建築・デザイン関係の大学や市民団体等に対して募集案内を送付
- ・実施体制：市職員6名、アドバイザー2名
- ・教材等：調査エリアの地図等を貸与



グループでの調査内容のまとめの様子

○スケジュール

時間	内容
9:30～9:45	集合、参加チーム紹介、内容説明
9:45～11:45	グループ毎に調査を実施
12:45～14:30	グループ毎に調査内容のまとめ
14:30～16:15	調査結果の発表会、色彩の専門家による講評
17:00～	反省会、意見交換会



調査結果の発表の様子

*撮影した写真は、昼食時間中に、提携した写真店で印刷する



❖景観まちづくりに取り組む住民協議会に対して、まちづくりの専門家を派遣し、活動を支援する「まちづくり専門家派遣制度」。

❖各地域では、抱える問題や目標に応じて、建築・都市計画・土木・商業・法律・経済等、様々な分野の専門家から、地域の实情に応じた指導を受けることができます。

❖住民の自主的な取り組みを行政が支援することで、住民主体の景観まちづくりが進展することが期待されます。

詳細

○対象：地域住民等によるまちづくり協議会

○目的：地域住民が抱える問題を専門家とともに協議することで、住民のまちづくりへの意識の向上を図り、もって個性豊かで、美しく誇りを持って次の世代に継承できる社会を実現することを目的とする。

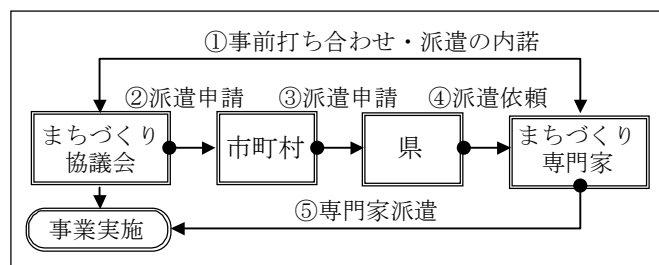
○内容・特徴：良好なまち並みの形成やまちづくりを行おうとする、まちづくり協議会の活動を支援するため、各地域の抱える問題や課題に応じて、県で登録している専門家を派遣する制度。登録している専門家は、建築・都市計画・土木・商業・法律・経済等の分野で、平成18年度の場合は43人。

○実施概要

- ・ 日時：派遣要請があり次第随時
- ・ 費用：専門家の報酬費の一部は県が負担、専門家の旅費及び会場は市町村又は協議会が負担
- ・ 派遣回数：原則として、1地区に対して年3回

○派遣の流れ

・ まちづくり協議会と専門家との事前協議(①)を踏まえ、まちづくり協議会から市町村、県へと派遣申請が行われる(②、③)。その後、県から専門家に対して派遣が依頼され(④)、事業が実施される(⑤)。



○派遣事例



【駅周辺ビジョンを考える会】

- ・ 専門家の指導によりまち歩きを行い、駅周辺のまちの課題等を把握した。
- ・ その後、まちづくり方針の合意形成やプロセスの重要性について指導を受けた。



【船越区まちづくり懇談会】

- ・ 地域が市街化調整区域に指定されたことを受け、活性化方策を検討した。
- ・ まちづくり計画(案)の作成について、専門家から指導を受けた。

景観まちづくりを支援する専門家を派遣！

No.49

山口県景観アドバイザー登録制度 山口県



◆住民や事業者による景観形成活動を支援する専門家を、登録・派遣する「景観アドバイザー登録制度」。

◆県では、景観まちづくりの専門家として「景観アドバイザー」を登録し、県内での景観形成活動での講演や助言の業務を依頼しています。

◆意欲ある専門家を支援・活用する取り組みによって、行政と住民、専門家が一体となった景観まちづくりの推進が期待されます。

詳細

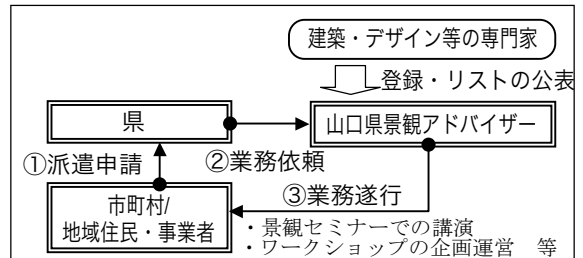
○対象：建築やデザイン等の専門家で、県内での景観形成活動の支援を希望する人。

○目的：県内の各地域で景観形成活動が活発に行われるように、県・市町村・住民・事業者が景観形成活動に取り組む際に、容易に専門家の意見を求めることが出来る体制を整える。

○内容・特徴：県内での景観形成活動の支援を希望する建築やデザイン等の専門家を「景観アドバイザー」として登録し、県内で行われる景観形成活動において、講演や助言等の業務を依頼する。平成18年度で、建築・都市計画・デザイン・色彩・造園等の専門家30名が登録されている。

○景観アドバイザー制度の概要

・景観形成に取り組もうとする地域住民・事業者と市町村から、県へ派遣申請が行われ(①)、県から景観アドバイザーに業務依頼が行われる(②)。これを受けて業務が遂行される(③)。



○景観アドバイザーの業務

・景観アドバイザーは、景観行政団体が行う景観形成活動等に関する助言/景観に関するシンポジウム・セミナー等での講演/ワークショップ等の景観形成活動の企画・運営/公共事業等における景観に関する評価又は助言、を行う。



地域景観ワークショップにおいてファシリテーターを務めている様子

○その他

・当該制度の開始年である平成17年度と翌18年度に、「景観アドバイザー」への登録希望者を対象に講習会を実施し、その修了者を登録してアドバイザー制度を運用している。現在は講習会は開催しておらず、登録希望者に対しては個別に対応している。

【平成17年度及び18年度に実施した講習会の概要】

1	山口県景観ビジョンについて
2	景観法について
3	景観形成における住民合意の手法と心得
4	ワークショップ実習
5	色彩に関する講習と実習
6	景観について総合的に考える講習